

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	三春町役場
実習期間	令和 元年 9月 17日 ~ 令和 元年 9月 24日
学生氏名	石黒 尚哉
実習プログラム	<p>1日目 総務課：郵便物の回収・仕分け、「公務員とは」ガイダンス、伝票確認、仕分け 住民課：町営バスについて</p> <p>2日目 企画政策課：企画政策課が取り組んでいることなどについて、アンケート結果のまとめ、空き家の内覧、プレミアム商品券の説明会</p> <p>3日目 企画政策課：アンケート結果のまとめ・報告書の作成</p> <p>4日目 企画政策課：町天然記念物の大桜について打ち合せ、アンケート結果のまとめ、外回り、チラシ折り</p> <p>5日目 産業課：各観光所への訪問、三春町の観光事業、フォトコンテストについて</p>
学び・気づき (300字程度)	<p>三春町役場では、コストと需要に見合った公共事業の在り方や人口減少対策の取り組みなどを勉強し今後の進路に役立てられるような経験をすることができた。また、住民とのコミュニケーションの取り方や町を住み良くするにはどうするか、地域を活性化するにはどうするという思いで業務に取り組んでいる姿などとても勉強になった。そして、そういった職員の姿を見て市役所で働きたいという目標が確かなものになった。</p>
今後に向けた抱負 (200字程度)	<p>この度のインターンシップでコミュニケーション能力が課題となったため、今後の大学生活でこの課題を改善できるよう発表の場や自分の意見を発信する場に参加した際に、話を短縮せず「なぜそう思ったのか、どういうものか」など理由や具体的に相手に内容を伝えることを意識して対応していきたい。また、事前学習の大切さを感じたため今後色々な取り組みをするときは必ず事前学習(予習)をすることを心がけていきたい。</p>
インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)	<p>町のためにさまざまな取り組みを行ううえで、どうすれば町が良くなるかという試行錯誤している姿が印象的だった。また、訪問先や現場の住民の方たちと積極的に意見交換をしており、住民にとって何でも話せる身近な存在なのだと思った。また、実習中は分からないことや疑問に思ったことなどを分かりやすく教えていただきとても優しい人たちばかりだった。</p>

写真 (1~3点)

